



タイトル「2018年度シラバス」、フォルダ「経済経営学類」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	教養演習Ⅱ		
担当教員	大川 裕嗣		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	経:E
講義室			
開講学期	後期		
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
準備事項			
備考			
ナンバリング			
授業概要とねらい	<p>福島大学の教養演習は、今から20年前、三つの「ねらい」を定めて設けられた科目です。</p> <p>1学生が自分たちで考え、討論する場、人間的交流を深める場をつくる</p> <p>2読む・書く・討論するという学問の基礎的能力を養う</p> <p>3学生が学問への動機づけや学ぶ姿勢を獲得するような契機を豊かに与える</p> <p>このクラスも当然これらの「ねらい」をもっています。</p> <p>後期のクラスでは、その「ねらい」を実現するために、前期とは全く違うアプローチをとります。</p> <p>あえてテーマを掲げるなら「本を読み、本を語り、自分を知り、仲間を知ろう」というものになるでしょうか。</p>		
望ましい水準	<p>大学教育は4年間で完結するものですし、その成果はみなさんの生涯を通じて実現されていくべきものです。だから、一つひとつの授業の成果を、その学期ごとに測ることに、あまり意味はないのかもしれませんが、</p> <p>とはいえ、教養演習はみなさんの大学生活をよりよいものにするための基盤をつくる科目ですから、上記の「ねらい」の実現にできる限り努めたいと考えています。</p>		
授業計画	<p>この授業は前期の教養演習Ⅰと同じメンバーで行う予定です。みなさんには前期の終わり頃に、まず小課題を提出してもらいます。これまでに読んだ本のなかから、ゼミのみなさんにも薦めたい本、読んでもらいたい本、語り合いたい本を1冊えらんで推薦文を書くという課題です。ただし手に入りやすい、そして値段も手ごろな文庫本や新書などに限ることにしましょう。</p> <p>後期の授業では、推薦された本のうちから組合せをよく考えたうえで各回に1～2冊をとりあげ、全員があらかじめその本を読んできたうえで、その本を語り合い、論じ合っていきます。最初の問題提起と司会は、本を推薦した人に担当してもらいます。</p> <p>場合によっては20冊ちかくの本を買い、読むわけですから、時間やお金の面での負担は決して小さくありません。でも、それ以上のものを、みなさんは必ず得られるはずだと考えています。</p>		
教材・教科書	<p>上に書いたように、あなたが問題提起と司会を担当するテキストを選ぶのは、あなた自身です。ただし、絶版や品切れであったり、高価に過ぎたり、内容的に難しすぎたりすることもあるでしょうから、そこはみんなでよく話し合って決めましょう。</p>		
参考図書	<p>輪読形式のゼミでは本来、テキストを読んでくれるのは最低限の義務に過ぎず、自分でさまざまな参考文献を読んで、論点を見いだすようにしなければなりません。しかし後期のこのクラスでは、テキストだけでも読むのが大変なわけですから、参考文献に手を出すのは困難かもしれません。</p>		
参考URL			
授業以外の学習	<p>自分が担当した回について、まとめのレポートを作成してもらうほか、冬休みにはもう一つ、小課題を用意する予定です。</p>		
成績評価の方法	<p>特別な事情が無いがぎり毎回、上のような準備をして出席し、討論できちんと発言していくことが重要です。そして、仲間との良い「場」をつくるための努力も大切です。それらの条件を満たしていけば、当然、良い成績が得られます。</p>		
成績評価の基準	<p>A～Fの成績評価の基準は、当然のことながら「学習案内」記載のものと同一です。すなわち、A:きわめて優秀、B:優秀、C:望ましい水準に達している、D:望ましい水準に達していないが、不合格ではない、F:不合格、です。</p>		
オフィスアワー	<p>教養演習の担当者は「アドバイザー教員」でもあります。みなさんの学習全般に限らず、生活面について、そのほかどんなことについてでも、いつでも相談に応じます。特に時間は定めません。</p> <p>なお、私の連絡先については、初回の授業の際にお知らせします。</p>		
留意点・注意事項			

その他	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け1	幅広い教養／学問的思考の基礎(幅広い教養2)
カリキュラムにおける当該科目の位置付け2	自己形成力／自己学習力(自己形成力1)
カリキュラムにおける当該科目の位置付け3	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け4	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け5	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け6	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け7	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け8	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け9	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け10	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け他	



Copyright (c) 2004-2011 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.